

赤潮・貧酸素情報（４）

平成２７年５月１５日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

５月１５日に豊前海区沿岸から沖合にかけて有害プランクトン調査を行った結果、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が人工島及び各漁港で確認されています。

< 有害プランクトンの状況 >

- 人工島でカレニア・ミキモトイの増殖（５ｍ層で海水１ｍｌ中に２２２細胞）が認められています。このほか、宇島漁港の底層で７２細胞／ｍｌの密度で確認されています。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に５ｍ層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。
- 本種は、昨年同時期に発生しており、コウイカ等への悪影響が懸念されています。
- なお、貧酸素の発生は確認されておられません。

< 今後の状況 >

- 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。
- ４月から引き続き本種の増殖が確認されています。魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（０９７９－８２－２１５１、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

5/15調査結果					
番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	カニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	0	20.6	26.64	3
		B-1	19.5	31.43	3
②	恒見漁港	0	20.1	27.89	0
		B-1	19.2	31.54	0
③	苅田本港	0	20.3	31.78	20
		B-1	19.4	31.79	3
④	苅田南港	0	20.5	30.35	0
		5	19.5	31.36	0
		B-1	19.5	31.27	0
⑤	宇島漁港	0	20.7	30.78	6
		B-1	20.1	31.52	72
⑥	吉富漁港	0	20.5	30.27	5
		B-1	20.3	30.70	3
⑦	人工島	0	19.6	31.59	84
		5	18.9	31.71	222
		B-1	19.0	31.68	20

